

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公開番号】特開2001-356491(P2001-356491A)

【公開日】平成13年12月26日(2001.12.26)

【出願番号】特願2001-111451(P2001-111451)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/26 (2006.01)

B 4 1 C 1/10 (2006.01)

G 0 3 F 1/02 (2006.01)

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

G 0 3 F 7/11 (2006.01)

G 0 3 F 7/38 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 F 7/26

B 4 1 C 1/10

G 0 3 F 1/02

G 0 3 F 7/00 5 0 2

G 0 3 F 7/00 5 0 3

G 0 3 F 7/11 5 0 1

G 0 3 F 7/38 5 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月1日(2008.4.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記の段階：

(a) 第 1 の剥離可能な支持体 (1)、像記録層 (2) 及接着剤層 (3) を示された順序で含んで成る材料を、支持体 (7)、紫外線感光性層 (6) を含んで成る紫外線感光性材料にラミネーションし、その際接着剤層 (3) は紫外線感光性層 (6) にラミネーションされ、

(b) 像記録層 (2) を像通りに露光してマスクを形成し、

(c) 紫外線感光性材料を該マスクを通してフラッド露光し、

(d) 紫外線感光性材料を現像する、

ことを含んで成り、その際剥離可能な支持体 (1) は段階 (b)、(c) 又は (d) の前に除去され、そして段階 (a) ~ (d) は 2 カ月より短い期間内に行われるレリーフ像の現場での製造方法。

【請求項 2】

紫外線感光性材料が紫外線感光性層の上に追加の層 (5) を更に含んで成り、そして接着剤層 (3) が追加の層 (5) の上にラミネーションされる請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

像記録層 (2) が熱燃焼性ポリマー結合剤及び光吸収性化合物を含んで成るレーザ融除可能な層である請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

第 1 の剥離可能な支持体 (1) が、像記録層 (2) に面する側において剥離剤でコーティングされたプラスチックフィルムである請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

該紫外線感光性材料がフレキシ印刷版前駆体である請求項 1 に記載の方法。